

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市榴岡図書館	
2 指定管理者	丸善雄松堂株式会社	
3 指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和4年度 110,361人団体〔個人：110,256人、団体・文庫：105団体〕(前年度比 114.6%) 令和3年度 96,265人団体〔個人：96,178人、団体・文庫：87団体〕(前年度比 102.7%) 令和2年度 93,711人団体〔個人：93,619人、団体・文庫：92団体〕(前年度比 84.8%)	
	《事業》 仙台市榴岡図書館の運営管理	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 46,992千円 (45,232千円) ・ その他市が負担した費用 12,508千円 (12,132千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 31千円 (18千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート 実施期間：令和4年12月10日～12月23日 ・ 利用者懇談会 開催日：令和5年2月10日	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された施設運営上の基本方針に基づき管理運営されており、全館共通の業務や行事を適切に行っている。また、サービスの質の向上や利用促進のための取り組みがなされている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況及び施設の開館状況は仕様書のとおり適切であり、指定管理料は適正に執行されている。 個人情報保護の取り扱いや図書館情報システムのセキュリティ対策を徹底し、事故防止チェックリストに基づき、事故や苦情等の事例を広瀬図書館と共有し、ヒヤリ・ハット集の充実を図っている。災害発生時の訓練は、関係機関と合同で適切に実施している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	建物及び設備は適切に管理されており、毎日定時に館内を巡回し、事故・犯罪の未然防止に努めている。利用者から提供される紙袋を本の持ち帰り用に自由に利用してもらえるように設置するなど環境に配慮した取り組みもなされており、備品も適切に管理されている。	17/17
IV サービスの質の向上	館内表示について、入口付近の案内表示を従来のものに加え、外国人も利用しやすいように英語表記も入れて新しく作り直し、掲示している。書架分類の表示を色で区別し、ピクトグラムを加えるなど、様々な利用者が分かりやすいように工夫を行っている。 職員の教育・研修において、定例休館日に、接遇研修や、個人情報保護研修など、全職員が参加する研修を実施し、サービス水準の確保に努めている。また、レファレンス研修や、ブックトーク研修など、職員の資質向上のため、積極的に各種研修を受講している。	27/27
V 施設固有の基準	自主事業では、利用者の要望を受け、地域包括支援センターやハローワーク仙台と連携し、高齢者を対象とした健康や就職・就労に関する講座を開催し、利用者の要望を取り入れながら魅力的な企画を行っている。 ヤングアダルト(YA)世代に向けた読書活動支援の取り組みに力を入れており、中高生の「選書サポーター」が館内のポップを作成するなど、YA世代が本に親しみやすいための事業を行っている。	18/16

三 評価総括

《指定管理者（丸善雄松堂株式会社）による自己評価》
<p>1.令和4年度は、新型コロナウイルスに向き合いながらも、感染対策を講じながら、指定管理者として「基本方針」と「仙台市図書館振興計画」に基づき、地域の教育機関や団体との連携を強化し、さらに利用者サービスの向上を図るとともに「地域に根差し、共に成長し続ける図書館」を目指して業務と自主事業を進めた。</p> <p>2.自主事業は、前年度に引き続きSDGsの啓蒙を図る事業を展開し、さらに、YA世代に向けた講座と、地域包括支援センターと連携した高齢者向けの講座を実施することで、生涯学習を支援する基盤施設としての図書館の機能を果たした。子育て世代の利用が増えており、2・3歳児向けの定例おはなし会を月2回に増やすことで、絵本を通じたふれあい機会づくりの創出に努めた。</p> <p>3.利用実績は、貸出冊数、返却冊数共に前年度比約112%と伸びている。また、登録者数も前年度比約105%と伸びており、自主事業や展示等による利用促進の効果が表れていると考える。</p> <p>4.職員の教育研修は、オンラインの活用も含めて積極的に参加し、他都市の図書館ニーズの把握と、職員一人一人の技術向上に活用した。</p> <p>5.施設管理は、引き続き文庫本への買替えを進めるとともに、閉架書庫の配置換えを行う等、限られたスペースを最大限活かしながら、資料の配置等工夫した。また、書架の案内表示にピクトグラムを活用し、さらにエレベーター付近に車椅子を設置する等、誰もが使いやすい図書館を目指した。新型コロナウイルス感染症対策は、前年度に引き続き、定期的なアルコール消毒と換気の徹底、定例おはなし会等については仙台市生涯学習支援センターと協力し実施した。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>利用しやすい図書館のための取り組みとして、館内表示について、入口付近の案内表示を従来のものに加え、外国人向けに英語表記も入れて新しく作り直すことや、書架分類の表示を色で区別し、ピクトグラムを加えるなど、職員のアイデアを活かしながら、様々な利用者に配慮した図書館づくりに努めた。</p> <p>自主事業では、利用者から高齢者向け事業の実施についての要望を受け、地域包括支援センターやハローワーク仙台と連携し、高齢者を対象とした健康や就職・就労に関する講座を開催した。アンケートでも継続して実施を希望する意見があり、多くの利用者に役立つ事業だと評価できる。</p> <p>前年度に引き続き、ヤングアダルト(YA)世代に向けた読書活動支援の取り組みに力を入れており、中高生の「選書サポーター」が館内のポップを作成するなど、YA世代が読書に親しみやすくなるための事業を行っている。</p> <p>図書館の立地上、周辺に若い世代が多く住んでおり、図書館でも子育て世代の利用が増えていることから、家族で参加する事業について、回数を増やしたり、内容の充実を図っている。特に、「防災おはなし会」は防災をテーマとした大型絵本の読み聞かせのほか、非常持ち出し袋の中身の確認を行うなど、実生活にも役立つ内容で、子どもと大人と一緒に楽しみながら参加できるよう工夫しており、評価できる。</p> <p>職員の教育・研修において、定例休館日に、接遇研修や、個人情報保護研修など、全職員を対象に研修を実施し、サービス水準の確保に努めている。また、レファレンス研修や、ブックトーク研修など、職員の資質向上のため、積極的に各種研修を受講している。</p> <p>以上、榴岡図書館の指定管理者は、施設の設置目的に沿って適切に管理運営を行うとともに、地域の施設等と連携しながら職員が工夫をして新しい取り組みや、魅力的な事業を実施し、サービス向上に貢献している点が大いに評価できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):教育局市民図書館